



クラブ訪問

248

「二回一回の練習を大切に」

下総ドルフィンズ

私たち「下総ドルフィンズ」は小学2～6年生の女子19人で活動しているバレーボールクラブです。毎週火・土曜日に下総みどり学園や十余三運動施設の体育館で練習しています。

普段は、全員でウォーミングアップをした後、高学年と低学年に分かれ、サーブやレシーブなどの基礎練習を行います。最後には、チーム全体での試合形式の練習をして、その日に学んだことをお

さらいます。

クラブのモットーは「練習は試合のように。試合は練習のように」。週2回の活動は決して多いわけではないので、一回一回の練習を無駄にしないように、緊張感を持って臨んでいます。例えば、スパイクの打ち込みをする時は、どこに打てば得点につながるのかを考えて打つなど、実戦を想定して取り組むようにしています。反対に、試合の時はチーム本来の力を出せるようにリラックスすることを心掛けています。また、チームの一体感を高めることも試合で力を発揮するためのポイント。学校や学年が違っても仲が良いチームなので、練習の合間のおしゃべりや試合中の「ナイスサーブ」などの声掛けでチームの絆を深めています。冬には、昨年も出場した県大会の予選があります。チームで力を合わせて、本戦へ進みたいですね。



先輩のスパイクに挑む



狙いを定めて



とみざわ ななせ
富澤 七星 キャプテン(6年生)

先輩に誘われて、1年生から始めました。チームでボールをつないで得点できた時に、バレーボールの楽しさを感じます。

なかまと一緒に

246

「手間の分だけ愛着が湧く」

ウッドペッカー



素材と向き合って彫る



思いが詰まった作品の数々



木材のようなぬくもりのある仲間と

私たち「ウッドペッカー」は毎週木曜日に加良部公民館で活動している木彫りのサークルです。

木彫りは、材料である木材に形や模様などを彫る工芸です。形や大きさの異なる彫刻刀を使い分け、線の幅を変えたり、彫りの粗さに変化を加えたりすることで、木材の質感や木目を生かした作品が出来上がります。木彫りというと置物の印象が強いかもしれませんが、私たちが作っているのは手鏡や壁飾りのほか、組み立て作業を伴う小物入れなど多種多様。時には、椅子やテーブルといった実用的な家具を1年以上かけて制作することもあります。出来上がった作品を家や公民館まつりで人に見てもらおうのも楽しみ方の一つです。

私たちのサークルでは、作る物を各自で決めているため、家で使用したり飾ったりするイメージに合わせて、自分の欲しい物が作れます。彫り・組み立て・塗料での色付け・ニス仕上げなど、作品には見えない努力が詰まっているので、完成した時は、手間をかけた分だけ愛着を感じられるのが木彫りの一番の魅力。作業でつまずいた時でも先生からアドバイスをもらえるため、安心して自分のペースで取り組むことができます。材料を取り寄せるためのカタログを見ながら「次は何を作ろうか」と考えていると、わくわくします。

公民館主催の教室がきっかけで活動を始めたこのサークルは今年で結成25周年。当初からいる人も、後から参加した人も、手を動かす傍らで、和気あいあいとおしゃべりをしながら木彫りの奥深さを楽しんでいます。

スクスクのびのび



おおば
大場 いろはちゃん・成くん

けんかもするけど仲良し姉弟!



やまだ らんか
山田 蘭禾ちゃん

パパの影響で千葉ロッテファンになりました♪

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

○応募方法 お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字以内のコメントを郵送またはEメールで広報課へ
〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)
○応募先 広報課 ☎20-1503
○問い合わせ先

510